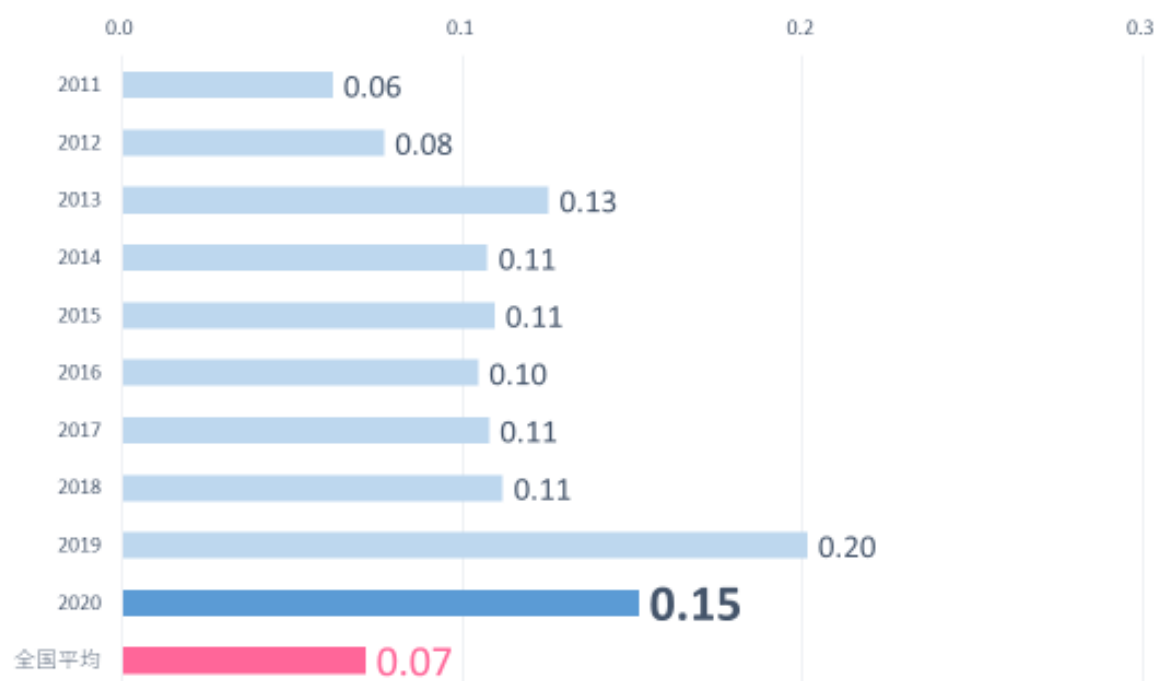


# 入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル2以上)

医療の質を評価する側面  
Outcome

日本病院会QIプロジェクトデータより

## 入院患者の転倒・転落による損傷発生率(損傷レベル2以上)



(単位 %:パーミル(×1000))

分子:入院中の患者に発生した損傷レベル2以上の転倒・転落件数  
分母:入院患者延べ数(人日)

参考:2019年度 QIプロジェクト 一般病床 351医療機関

# 入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル2以上)

医療の質を評価する側面  
Outcome

## 項目の解説

入院中の患者さんの中で、転倒・転落が発生した件数を1,000人あたりの比率で示しています。入院中の転倒や、ベッド等からの転落は少なくありません。転倒・転落の発生および損傷発生事例を報告し、事例の分析、対策を立てる取り組みが予防につながります。転倒・転落発生率は、その取り組みが効果的に行えているかどうかの指標となります。この指標を継続的に追跡し、改善の取り組みを継続することが重要です。

## 2020当院データの分析

転倒転落、発生率は全国平均より高い。当院の入院患者の高齢化等の影響があると考えます。

## 数値改善に向けた今後の取り組み

転倒転落防止プロジェクトを結成し、「眠りリスクの導入による眠りの質改善」、「病室環境の工夫」、「リハビリ」「骨粗しょう症予防」に取り組んでいる。